

問1 草むらや木の近くにこん虫が多くいるのは、なぜですか。

問2 ヒマワリのたねの形や色には、どのような特^{とく}徴^{ちゆう}がありますか。

問3 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

問4 モンシロチョウの幼^{よう}虫^{ちゆう}は、なにを食べますか。

問5 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問6 植物のたねをまいて芽^めが出たあと、子葉の次に出てくる、子葉とはちがう形をした部分を何といいますか。

問7 こん虫の体の部分のうち、目やしよっ角がついていて、身の回りのようすを感じ取ることができる部分はどこですか。

問8 かんさつしたことを、文やスケッチで残^{のこ}すことを何といいますか。

問9 マリーゴールドのたねができるのは、どのようなときですか。

問10 植物が成^{せい}長^{ちやう}して実^みができるのは、どのような後^{のち}ですか。

問11 アゲハのたまごは、どのような植物の葉にうみつけれられますか。

問12 クモが糸をはるのは、何をするためですか。

問13 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

問14 バッタやトンボのように、さなぎにならないこん虫は、よう虫のつぎにどのようなすがたになりますか。

問15 大きなたねをまくとき、土を入れ、指^{あな}などで穴をあけてたねをまいたあと、一番最後^{いちばんさいご}におこなうことは何ですか。

問16 植物の育ち方を調べるときに、ぼうグラフを使うと、どのような良^よいことがありますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 食べ物があつたり、敵から身をかくしたりできるからです。	こん虫は、食べ物がある場所や、敵から身をかくれるところがある場所に多く集まります。
問2	答え 平たくて、白と黒のしま模様がある。	ヒマワリのたねは、平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴です。
問3	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気があつて暗い、石の下などの日かげを好んでくらしています。
問4	答え キャベツの葉	モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べて大きくなります。
問5	答え 地面からいちばん上の葉のつけ根まで	草たけは、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さをはかります。
問6	答え 葉	子葉の次に出てくる、子葉とはちがつ形をした部分を「葉」といいます。
問7	答え 頭（あたま）	こん虫の頭には、目やしょつ角がついていて、身の回りのようすを感じ取るはたらきがあります。
問8	答え きろく	かんさつしたことを文やスケッチで残すことを「きろく」といいます。
問9	答え 花がさき終わった後	マリーゴールドのたねは、花がさき終わった後にできます。
問10	答え 花が咲いた後	植物は、つぼみから花が咲いたあとに、実ができます。
問11	答え ミカンやサンショウ	アゲハは、ミカンやサンショウの葉をえらんでたまごをうみつけます。
問12	答え えものを待ちかまえるため	クモは糸をはることで、やってくるえものを待ちかまえてつかまえます。
問13	答え スケッチ	かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことをスケッチといいます。
問14	答え せい虫	さなぎにならないこん虫は、よう虫のつぎにさなぎの時期をとおさず、そのまませい虫になります。
問15	答え 水をやる	大きなたねをまくときは、土を入れて穴をあけ、たねをまいたあとに、最後に水をやります。
問16	答え 大きさをくらべやすくなる。	ぼうグラフを使うと、草たけや葉の数などの大きさをかんたんにくらべることができます。

問1 ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、どのようなものがたくさん入っていますか。

問2 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

問3 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問4 たねから芽が出て、はじめに出てくる葉のことを何といいますか。

問5 こん虫が、まわりの植物や土、ほかの生き物などの自然と、おたがいに助け合ったりえさになったりして生きていることを何といいますか。

問6 植物が成長して実ができるのは、どのようになった後ですか。

問7 平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴のたねは、次のうちどれですか。

問8 ダンゴムシは、どのような場所で見つけることができますか。

問9 ダンゴムシは、ふだんどのような場所によく見つかる特徴がありますか。

問10 ダンゴムシをさがすとき、もっとも見つけやすい場所はどこですか。

問11 ホウセンカの丸くて小さいたねがたくさん入っている実は、いつできますか。

問12 植物や動物の「表面のようす」をくわしく調べるときは、どのようにして確かめますか。

問13 ヒマワリの花がさき終わった後にできる、しま模様があるものは何ですか。

問14 モンシロチョウの成虫は、何を食べて生きていますか。

問15 土を入れ、指などで穴をあけてたねをまき、最後に水をやるという、大きなたねをまくときの方法を何といいますか。

問16 マリーゴールドのたねができるのは、どのようなときですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 丸くて小さいたね	ハウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、丸くて小さいたねがたくさん入っています。
問2	答え スケッチ	かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことをスケッチといいます。
問3	答え 地面からいちばん上の葉のつけ根まで	草たけは、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さをはかります。
問4	答え 子葉（しょう）	たねから芽が出たときに、最初に出てくる葉のことを「子葉」といいます。
問5	答え こん虫と自然のかかわり	こん虫がまわりの自然とおたがいに影響し合って生きていることを「こん虫と自然のかかわり」といいます。
問6	答え 花が咲いた後	植物は、つぼみから花が咲いたあとに、実ができます。
問7	答え ヒマワリのたね	ヒマワリのたねは、平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴です。
問8	答え 石の下のしめったところ	ダンゴムシは、石の下などのしめり気がある場所を好んでくらしています。
問9	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、石の下などの暗くてしめった日かげで見つかる特徴があります。
問10	答え にわにある石の下	ダンゴムシは石の下のしめったところにすんでいるため、にわの石の下をさがすと見つかることができます。
問11	答え 花が咲いた後	ハウセンカの実とたねは、花が咲いた後にできます。
問12	答え 手でさわって確かめる	植物や動物の表面がどのようなになっているかを調べるときは、手で直接さわって確かめます。
問13	答え たね	ヒマワリの花がさき終わった後には、しま模様のあるたねができます。
問14	答え 花のみつ	モンシロチョウの成虫は、花のみつを食べます。キャベツの葉を食べるのは幼虫のときです。
問15	答え 大きなたねのまきかた	土を入れ、指などで穴をあけてたねをまき、最後に水をやるのは、大きなたねをまくときの方法です。
問16	答え 花がさき終わった後	マリーゴールドのたねは、花がさき終わった後にできます。

- 問1 植物や動物の「表面のようす」をくわしく調べるときは、どのようにして確かめますか。
- 問2 こん虫の体の部分のうち、目やしよっ角がついていて、身の回りのようすを感じ取ることができる部分はどこですか。
- 問3 アゲハが、ミカンやサンショウの葉などにうみつけるものは何ですか。
- 問4 植物の育ち方を調べるときに、ぼうグラフを使うと、どのような良いことがありますか。
- 問5 かんさつしたことを、文やスケッチで残すことを何といいますか。
- 問6 こん虫のからだの部分のうち、6本のあしがついている部分はどこですか。
- 問7 ダンゴムシが石の下などの日かげにいるように、動物たちがくらしている場所にはどのようなとくちょうがありますか。
- 問8 アリは、どこに巣をつくって食べ物を運びこみますか。
- 問9 植物や動物をかんさつするとき、色や形を正しくのこすために、何にかいて記録しますか。
- 問10 はねがあるこん虫の、はねがついている部分はどこですか。
- 問11 ヒマワリの花がさき終わった後にできるたねには、どのような模様がありますか。
- 問12 ヒマワリのたねの形や色には、どのような特徴がありますか。
- 問13 ダンゴムシは、ふだんどのような場所によく見つかる特徴がありますか。
- 問14 白い羽に模様があり、花のみつを吸う虫はどれですか。
- 問15 体が「頭」「むね」「はら」の3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物のなかまを何といいますか。
- 問16 キャベツの葉を食べるのは、モンシロチョウがどのようなときのすがたですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 手でさわって確かめる	植物や動物の表面がどのようにになっているかを調べるときは、手で直接さわって確かめ ず。
問2	答え 頭（あたま）	こん虫の頭には、目やしょっ角がついていて、身の回りのようすを感じ取るはたらきがあり ます。
問3	答え アゲハのたまご	アゲハは、ミカンやサンショウの葉などにたまごをうみつける特ちょうがあります。
問4	答え 大きさをくらべやすくなる。	ぼうグラフを使うと、草たけや葉の数などの大きさをかんたんにくらべることができます。
問5	答え きろく	かんさつしたことを文やスケッチで残すことを「きろく」といいます。
問6	答え むね	こん虫の6本のあしは、すべて「むね」の部分についています。
問7	答え 動物の種類によって、くらす場所が決まってい る。	動物はそれぞれ、自分がくらすのに適したお気に入りの場所をもっています。
問8	答え 土の中	アリは、土の中に巣をつくって、食べ物を運びこむ生活をしています。
問9	答え 絵や文	植物や動物をかんさつするとき、色や形は絵や文にかいて記録します。
問10	答え むね	はねがあるこん虫のはねは、あしと同じように「むね」の部分についています。
問11	答え しま模様	ヒマワリのたねには、しま模様があります。
問12	答え 平たくて、白と黒のしま模様がある。	ヒマワリのたねは、平たい形をしていて、白と黒のしま模様があるのが特徴です。
問13	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、石の下などの暗くしてめった日かげで見つかる特徴があります。
問14	答え モンシロチョウ	白い羽に模様があり、花のみつを吸う虫はモンシロチョウです。
問15	答え こん虫	体が頭・むね・はらの3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物を「こん 虫」といいます。
問16	答え 幼虫（ようちゅう）	モンシロチョウは、幼虫のときにキャベツの葉をたくさん食べます。

問1 モンシロチョウが、花のみつを食べるようになるのはどの時期ですか。

問2 チョウなどのよう虫は、どのようにして体を大きくしていきますか。

問3 チョウのよう虫は、何を食べて大きくなりますか。

問4 こん虫が、よう虫からせい虫になる前の段階で、何も食べずに動かなくなる時期のことを何といいますか。

問5 植物のたねをまいて芽が出たあと、子葉の次に出てくる、子葉とはちがう形をした部分を何といいますか。

問6 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問7 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

問8 葉を食べて、皮をぬぐたびに大きくなり、大きくなるとさなぎになる、チョウの育ち方の段階を何といいますか。

問9 モンシロチョウのたまごは、どこにうみつけられますか。

問10 チョウのよう虫は、どのようにして大きくなりますか。

問11 花がさいたあとにできる「実」の中には、何が入っていますか。

問12 赤と黒のもようをしていて、自分より小さい虫を食べる虫はどれですか。

問13 花がさいたあとにできるもので、その中にはたねが入っているものは何ですか。

問14 モンシロチョウの成虫は、何を食べて生きていますか。

問15 土の中に巣をつくり、食べ物を運びこむ虫はどれですか。

問16 植物の実は、花が咲いたあと、どこにできますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え せいちゅう 成虫のとき	モンシロチョウは、成虫 <small>せいちゅう</small> の時期になると花のみつを食べようになります。
問2	答え 皮をぬぐ。	よう虫は、皮をぬぐ（だっぴする）ことで、体を大きくしていきます。
問3	答え 葉	チョウのよう虫は、葉を食べて栄養 <small>えいよう</small> をとり、皮をぬぎながら大きくなっていきます。
問4	答え さなぎ	よう虫からせい虫になる前の、何も食わずに動かなくなる時期を「さなぎ」といいます。
問5	答え 葉	子葉の次に出てくる、子葉とはちがう形をした部分を「葉」といいます。
問6	答え 地面からいちばん上の葉のつけ根まで	草たけは、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さをはかります。
問7	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気があって暗い、石の下などの日かげ <small>この</small> を好んでくらしています。
問8	答え チョウのよう虫	葉を食べて、皮をぬぎながら大きくなり、そのあとにさなぎになる段階 <small>だん</small> を「チョウのよう虫」といいます。
問9	答え キャベツの葉	モンシロチョウは、たまごをキャベツの葉にうみつける性質 <small>せいしつ</small> があります。
問10	答え 食べ物を食べて育つ。	よう虫は、たまごからかえったあとに食べ物をたくさん食べることで、どんどん大きく育ちます。
問11	答え たね	花がさいたあとにできる実の中には、たねが入っています。
問12	答え テントウムシ	テントウムシは、赤と黒の目立つもようがあり、自分より小さい虫を食べるのがとくちょうです。
問13	答え 実	花がさいたあとにできるものを「実」といいます。実の中にはたねが入っています。
問14	答え 花のみつ	モンシロチョウの成虫 <small>せいちゅう</small> は、花のみつを食べます。キャベツの葉を食べるのは幼虫 <small>ようちゅう</small> のときです。
問15	答え アリ	アリは、土の中に巣 <small>す</small> をつくって、食べ物を運びこむ特徴 <small>とくちょう</small> をもつ虫です。
問16	答え 花が咲いていたのと同じ場所	植物の実 <small>さ</small> は、花が咲いたあとに、花が咲いていたのと同じ場所 <small>さ</small> にできます。

問1 こん虫がたくさんいるのは、どのような場所ですか。

問2 自然を調べるときに、まず最初におこなうことは何ですか。

問3 赤と黒のもようをしていて、自分より小さい虫を食べる虫はどれですか。

問4 体が「頭」「むね」「はら」の3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物のなかまを何といいますか。

問5 植物の実は、花が咲いたあと、どこにできますか。

問6 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

問7 植物に実ができるのは、どのようなことがおこったあとですか。

問8 ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、どのようなものがたくさん入っていますか。

問9 チョウなどのよう虫が、大きくなるときに古い皮をぬぐことを何といいますか。

問10 アゲハが、ミカンやサンショウの葉などにうみつけるものは何ですか。

問11 こん虫のからだの部分のうち、6本のあしがついている部分はどこですか。

問12 植物が成長して実ができるのは、どのようなようになった後ですか。

問13 チョウの育ち方で、よう虫の次になり、せい虫になる前の時期を何といいますか。

問14 植物の高さのことで、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さのことを何といいますか。

問15 石の下などの日かげをさがすとよく見つかる、春によく見られる生きものはどれですか。

問16 モンシロチョウのたまごは、どこにうみつけれられますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 食べ物があって、敵から身をかくれるところがある場所	こん虫は、食べ物がある場所や、敵から身をかくれるところがある場所に多くいます。
問2	答え 観察をする	自然を調べるときは、まず最初に観察をします。そのあとに記録や発表を行います。
問3	答え テントウムシ	テントウムシは、赤と黒の目立つもようがあり、自分より小さい虫を食べるのがとくちょうです。
問4	答え こん虫	体が頭・むね・はらの3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物を「こん虫」といいます。
問5	答え 花が咲いていたのと同じ場所	植物の実は、花が咲いたあとに、花が咲いていたのと同じ場所にできます。
問6	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気があって暗い、石の下などの日かげを好んでくらしています。
問7	答え 花が咲いたあと	植物の実は、花が咲いたあとにできます。花が咲く前や、芽が出る前に実ができることはありません。
問8	答え 丸くて小さいたね	ハウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、丸くて小さいたねがたくさん入っています。
問9	答え だっぴ	よう虫が大きくなるときに、古い皮をぬぐことを「だっぴ」といいます。
問10	答え アゲハのたまご	アゲハは、ミカンやサンショウの葉などにたまごをうみつける特ちょうがあります。
問11	答え むね	こん虫の6本のあしは、すべて「むね」の部分についています。
問12	答え 花が咲いた後	植物は、つぼみから花が咲いたあとに、実ができます。
問13	答え さなぎ	チョウは、よう虫のあとにさなぎの時期をへて、せい虫へと育ちます。
問14	答え 草たけ	植物の高さのことで、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さを「草たけ」といいます。
問15	答え ダンゴムシ	石の下などの日かげをさがすと、ダンゴムシをよく見つけることができます。
問16	答え キャベツの葉	モンシロチョウは、たまごをキャベツの葉にうみつける性質があります。